

デフリンピック東京開催を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和3年12月21日

提 出 者

26番 深 沢 達 也

1 番 道 場 ひでのり

4 番 桜 井 夏 来

11番 落 合 勝 利

14番 藪 原 太 郎

16番 きくち 太 郎

20番 橋 本 しげき

武蔵野市議会議長 土 屋 美恵子 殿

デフリンピック東京開催を求める意見書

2020年東京オリンピック・パラリンピックが全国民に感動を与えて終了しました。パラリンピックの次は、聴覚障害者の国際スポーツ大会「デフリンピックを東京で」という招致に向けて取組が始まっています。

パラリンピックを超える歴史を持つ大きな規模の聴覚障害者イベントの開催により、聴覚障害者への理解と社会参加が一段と進むだけでなく、情報アクセシビリティの充実による東京の共生社会構築に寄与することが期待されています。

2020オリ・パラのレガシー活用、首都としての国際的な知名度、多くのスタッフやボランティアの動員実績など、日本で初めてのデフリンピック開催は東京が適任であり、経済効果も期待できることから、2025年デフリンピックを東京で開催することを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和3年12月 日

武蔵野市議会議長 土 屋 美恵子

東京都知事 宛て